

平成21年4月吉日

報道関係者各位

社団法人燕三条青年会議所

理事長 長谷川 直哉

2009年度（社）燕三条青年会議所「5月公開例会」の御案内
健康福祉に関する講演会 ～笑って健康・笑って長生き～

拝啓、貴社益々のご発展のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、私たちが住む社会は、生活習慣病・成人病など、体や心の健康について関心が高まっています。健康でいるには、一人ひとりが生活する上で、健全な体の生成はもちろんのこと日々安心して生きがいややりがいを感じると共に、自分の置かれている立場を理解することだと考えます。私達が豊かで幸せな人生を送るために重要な要素である「笑う」という事が、身体に非常に良い影響を及ぼすことが様々な研究によって明らかになっています。

そこで笑いの医学的効用を研究し”笑うことは、元気で長生きにつながる”と説く医師の昇 幹夫氏を講師にお招きし、健康福祉に関する講演会 ～笑って健康・笑って長生き～と題して講演して頂きます。この講演をきっかけに、このまちに住む多くの市民一人ひとりに、笑いの効用を知ってもらい、心身ともに健康で充実した生活を送ることができるようになり、その結果、心と体の安定を保ち、明日への活力を見出し、生活することができるようになればと考えます。

この例会を開催するにあたり、是非とも報道関係者様より内容・趣旨をご理解の上、広く市民にお伝えする上で取材にお越し頂きたく御案内申し上げます。

謹白

記

日 時 2009年5月7日（木） 18：45 開会 受付開始 18：30

会 場 三条・燕地域リサーチコア 7F マルチメディアホール

問い合わせ (社)燕三条青年会議所 事務局 TEL 0256-32-5151

プロフィール



講師名 : 昇 幹夫
かな : のぼりみきお
肩書き : 「元気で長生き研究所」所長
「日本笑い学会」副会長
産婦人科医師



笑いの医学的効用を研究し“笑うことは、元気で長生きにつながる”と説く医師。1971年九州大学医学部卒業。専門は麻酔科・産婦人科。「日本笑い学会」副会長として「笑い与健康」の部門を担当。現在、「元気で長生き研究所」所長として、全国を講演活動中の自称「健康法師」。

●職歴・経歴

1947年 鹿児島県生まれ。九州大学医学部卒業後、麻酔科・産婦人科の専門医として、82年より大阪在住。高校卒業30周年同期会で200人のうち8人の死(4人は医師)という事実ショックを受け、99年に年間1000名の出産を取り扱う病院を退職。生誕半世紀を振り返り、50代は過労死寸前の働き方を改める。大阪で産婦人科診療を行う傍ら、「日本笑い学会」副会長(「笑い与健康」の部門を担当)として笑いの医学的効用を研究。前向きな楽しい極楽トンボの生き方が、高齢社会をダイヤモンドエイジにする長生きの秘訣と説く。97年夏、ガン患者15名とともにモンブラン、2000年8月がん克服日米合同富士登山に参加。2003年4月「第一回千百人集会」(末期ガンから生還した百人が千人の闘病者にその体験を語る集会)にも参加し、ガンはその原因を改めると平和共存することを確認。また、日本人の本来の食のありかたについて医学的見地からも講演し、欧米人と日本人の遺伝子の違いから食教育を説く。NHKラジオ深夜便に「笑いは心の絆」と題して3回出演。1998年10月には、「おもいっきりテレビ」に出演。笑うということは健康にいいことを実験で証明した。

●著書・CD

『笑いは心と脳の処方せん』『60歳からの華やかな生き方』『笑顔がクスリ』『笑って長生き 笑い与健康の健康科学』『笑いとおと健康と』『過労死が頭をよぎったら読む本』『涙がでるほど笑ってラクになる本』『笑い与健康』『笑いは百薬に勝る』等
CD『健康は笑いから』『日本の心』『12kagetsu』等

